



い が し り つ う え の ひ が し しょう が っこう
伊賀市立上野東 小学校

こう ちょう し つ

校長室だより

2024・10・9

い が し みどりがおかなかまち
伊賀市緑ヶ丘中町4352

てんわ
電話 21-0314

い が し り つ しょう ちゅう が っこう
伊賀市立小中学校では、^{じんけん}「人権」^{きょういく すいしん}「キャリア」教育の推進とともに^{がくりょく}「学力」
^{こうじょう きょういく かつどう}の向上を教育活動の柱として^{とりぐみ てんかい}取組を展開しています。

^{たし がくりょく み つ}確かな学力を身に付けることは、^{しんろせんたく ひろ}進路選択を広げ、「夢の実現」につながると
ともに、「^{へんきょう}勉強がわかること」「^{がくりょく こうじょう}学力が向上すること」は子どもの^こ自信となり、
^{い い ゆた にんげんけいせい うなが}生き生きとした豊かな人間形成を促します。

^{がっこう}学校は、どの子にとっても^{こ きょうみぶか}興味深くわかる授業を行うこと、また^{かてい れんけい}家庭と連携
^{かていがくしゅう じゅうじつ はか}し、家庭学習の充実を図ることで、子どもたちが^{こ たし がくりょく み}確かな学力を身につけるこ
とをめざしています。

^{がっき}1学期、^{ねんせい}4・5年生は三重県教育委員会が作成した「^{みえスタディ・チェック}みえスタディ・チェック」
を、^{ねんせい もんぶかがくしょう さくせい}6年生は文部科学省が作成した「^{ぜんこくがくりょく がくしゅうじょうきょうちょうさ}全国学力・学習状況調査」を受けまし
た。その^{けっか こんご とりぐみ つた}結果と今後の取組をお伝えします。

1 教科の正答率について

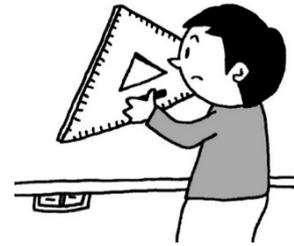
がくねん 学年 きょうか 教科	ねんせい 4年生		ねんせい 5年生		ねんせい 6年生			
	ほんこう 本校	みえけん 三重県	ほんこう 本校	みえけん 三重県	ほんこう 本校	い が し 伊賀市	みえけん 三重県	ぜんこく 全国
こくご 国語	—	57.4	△	48.6	—	67.9	67	67.7
さんすう 算数	△	58.5	△	56	▼	64.3	62	63.4
りか 理科			△	51.8				

※ ^{がっこう すうち こうひょう}学校の数値は公表できないことになっていますので、^{ねんせい ぜんこく}6年生は全国と、4・5

^{ねんせい みえけん ひかく}年生は三重県と比較して、^{おな ばあい}ほぼ同じ場合は「—」、^{うわまわ ばあい}上回っている場合は「△」、^{したまわ}下回
っている場合は「▼」で表現しています。

2 6年生(全国学力調査)の結果について

6年生の結果をお伝えします。左の表の通り、伊賀市では、国語・算数ともに正答率は全国とほぼ同じですが、本校の正答率は、国語は全国とほぼ同じ、算数は全国よりも低い傾向にあります。



● 国語では・・・

- ほとんどの項目において、正答率は全国とほぼ同じか、全国を上回る結果でした。特に、「学習した漢字を正しく使うことができる」「登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができる」「文の中における主語と述語との関係を捉えることができる」についての問題の正答率は、全国と比較して高かったです。
- しかし、「資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる」「目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討することができる」「話し言葉と書き言葉の違いに気づくことができる」についての問題の正答率は全国と比較して低かったです。

● 算数では・・・

- ほぼ全ての項目において、正答率が全国を下回る結果でした。中でも、速さに関する問題に対して課題があり、「速さの意味について理解している」「道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できる」の正答率が全国と比較して特に低い結果でした。

3 4・5年生(みえスタディチェック)の結果について

- 4年生の国語が三重県の平均正答率とほぼ同じであることを除いて、4年生の算数、5年生の国語・算数・理科において、三重県より高い結果でした。特に、5年生の算数の正答率は、三重県を大きく上回りました。

- 全国学力調査の結果から、国語が全国平均と同位であることに対して、算数には課題が見られます。算数という教科は、何よりも積み上げが必要です。毎日コツコツと根気よく取り組むことで成果が生まれます。後でもお伝えしますが、学校での学習に加え、家庭学習に取り組むことが、算数の課題解決につながるといえるでしょう。

4 生活習慣・学習習慣と学力の関係について

全国学力調査では、教科の理解力以外に生活習慣や学習習慣についても児童に聞きました。

- 本校の6年生は、「人が困っている時は進んで助けている」(95%)「学校に行くのは楽しいと思う」(90%)「将来の夢や目標を持っている」(87%)と、これらの項目について肯定的な回答をしている児童の割合が全国と比較して高いです。また、「人の役に立つ人間になりたいと思う」に肯定的に回答している児童は93%と、昨年に続き、高い数値を示しています。このことから、本校児童の人権意識やキャリア意識といった人間性についての能力は、比較的高いといえます。
- 一方、「平日の家庭学習の時間が1時間以上」と答えた割合は45%、「平日にテレビやコンピュータ、携帯等々のゲームをする時間が1時間以上」と答えた割合が79%、「平日にパソコンやスマートフォン等で動画視聴をする時間が1時間以上」と答えた割合が68%となっており、全国や県に比べて、家庭学習に取り組む時間が確保できていない状況が表れています。
- 先にもお伝えしましたが、学校での学習だけでは学力は充分身につけません。「学習は、教えられることではなく、自ら探求すること」として、主体的に学ぶことが求められています。そしてその力は、毎日の習慣において育成されるものと考えられます。

5 ご家庭に協力いただきたいこと

がくりよくこうじょう 学力向上は、 じゅぎょうかいぜん 授業改善 や なかまづくり と いった 学校での ぎょういっかつどう 教育活動 と 併せ
て、 家庭学 じゅう 習 や 生活習 せい 慣 の 改善 など、 家庭と 協力 しながら 進める ことが
じゅうよう 重要 です。 学力向上 のために、 子ども たちが 次の ことを がんば れるよう、
ご理解 と 協力 を お願いします。

- ① 基本的な生活習慣 (早寝・早起き・朝ご飯等) を 身につけ、時間
を守 って、自分で 学校に 来る。(自分でできることは自分です。)
- ② 毎日、家での 学習時間 (何時から何時まで) を 決めて、勉強
する。
- ③ 毎日、必ず 本を 読む。(学校での読書時間を含む。)

【保護者のみなさんへ】

- 毎日、学校に 来ることで、子ども は 成長 します。友だち や
先生と 学校で 生活 することが、自分自身 で 生きる 力の 基盤



となり、時間 や ルール を 守 ることが 正しい 人間形成 に つなが るということ を
ご理解 く ださい。

- 自ら 学 ぶ 習 慣 を 身につけさせるため、勉強時間 は「何時間」ではなく、必
ず 「何時から 何時まで」と、時間帯 を 決 めて 取 り組ませてください。
- 「勉強 しないさい」だけでは 子ども は 勉強 に 向 かい ま せん。「勉強 しよう」と
いう 雰囲気 を、ご家庭 の中 につ くって いた だく こ とが 効 果的 で す。読書 習 慣
を つ ける こ とも そ の 一 つ で す。

人は 人 から 学 びます。 私 たち 大人 が 子ども の 見 本 に なる よ う 心 が け なが ら、
お 子 さん の 成 長 の 喜 び を、みな さん と 共 に わ か ち 合 っ て い き た い と 思 い ます。

以上、ご協力 を よろ しく お 願 い します。